

侵略者

作・中野 守（中野劇団）

登場人物

隊長

男 1

男 2

女

ルームシェアをしている部屋の談話室。

男1と女がWiiのコントローラーを振りながら対戦している。

男2は漫画を読んで笑っている。

隊長が疲れて帰って来る。

男1 それっ。

女 えい。

隊長 ただいまー。

男1 やっ。

女 おかえりー。えい。

部屋にいた、三人、隊長の帰宅に特に関心を持たずに、Wiiや漫画観賞を続けている。

隊長 それ何？

女 Wii。

男2 ひやははははは。

隊長 何読んでんの？

男2 バキ。

隊長 …。

男2 ひやははははは。アホや。

隊長 (手を叩いて集合をかけて)ちよっとー。一回手止めようか。ちよっといいかな。集合。

男1 何？

隊長 仕事は？ おまえら。…今日、仕事行ったの俺だけ？ 何で仕事行ってないの？

男2 俺、今日創立記念日。

隊長 で、ずっとバキ読んでたの？ (男1に) おまえは？

男1 シフト代わってくれて言われたから。明日になってん。

隊長 あそう。おまえは？

女 今日はオフ。

隊長 昨日もだよね？ 一昨日もだよね？

女 うん。

隊長 …あのさ、俺らってさ、百万円貯まったらこの星侵略しようなって言ってここで

生活始めたんじゃないの？ え？ 目的忘れたの？

だって百万溜めたところでどうにもならへんし。

男1 こんな物価高いと思わんかったし。

男2 まあ座りいや、座りいや。

隊長 座らへん座らへん座らへん。

隊長 確かに俺らも勉強不足だったんだけどさ。

女 お茶飲む？

隊長 要らん。要らん。

男2 お隣さんに美味しいお茶貰ってんなあ。

隊長 お隣さん？ お隣さんと交流あるの？

* こないだもカレー貰ったやん。

隊長 あの野菜カレー？

* うん。

隊長 ああ、あれは美味しかった。美味しかったけど。でも、ゆくゆくは殺すんだぜ？

女 …何かそういうのさあ、もう嫌や。

男1 …一生懸命やりすぎちやう？

男2 ちよっと何か。…あれやわ。

隊長 え？ 待たせてる人達はいいの？ そもそも何で俺達ここに來てんの？ みんな

で移住できる星を早く探さないといけないんだろ？

男2 住みよいな。ここ。

隊長 いやいや、俺ら四人楽しいよじゃ駄目だろ？ それだったら、みんな来れるように。

男1 けど、こんな人数でどう考えたって無理やん。能力的にもこの人達と殆ど変わらないのに。

隊長 一年前に俺達来て。思ったよりこいつら（地球人）ちゃんとやってるなってわかって。だからこれは準備が必要だなってことになって。百万円貯めてそれから侵略しようってなったのに。え？ 何？ 働いたお金でWii買ったの？

女 お茶飲む？

隊長 お茶とか飲むな。ゲルがあるだろ俺達は。

女 でもお茶の方が美味しいやん。

男2 ほっとするよな。

男1 ゲル、ちょっと栄養ありすぎやねん。

隊長 侵略者だろ？ 俺達。え？ 侵略したくなくなっちゃった？

男2 それはあれやけど…。

隊長 ああもう…。

男1 夏休みどうする？

- 隊長 え？ …じゃあ、じゃあ、夏休みになったら侵略始めよっか。みんな氣い抜いてると思うし。
- 男2 海行く？
- 男1 北海道は？
- 女 いいなあ。
- 男2 今貯金幾らある？
- 女 七十万。
- 隊長 大分溜まったよな。
- 男2 一週間くらい行けそう？
- 隊長 え？ どうすんの？ 何て説明すんの？ 星には。もう帰る？
- 男1 ええ？
- 女 帰るんやったらさ、一回だけでもいいから北海道行きたい。
- 隊長 …え？ 観光気分で来たの？ おまえら。
- 男2 だってテレビ見てたらすごい楽しそうやん。
- 女 だって、テレビとか見てたら、みんな楽しそうやん。

隊長 だから侵略した後でたっぷり楽しんだらいいやん。

女 そんなん、ちょっと空気ちゃうやん。

隊長 一年前はみんな殺気もってやってたじゃん？ え？ 何処からそうなった？

何？ お茶？ お茶か。

男1 だって、ビルとか凄しいし。

隊長 え？ 地球に着いた時からか？

女 けど、地球の人、結構優しいし。

隊長 情にほだされたか？

男2 それにめっちゃ強い奴もおるし。

隊長 おまえそれ、バキの話してる？ 今、ここ（漫画）見ながら言った？

男2 いやいや。リアルで。

隊長 てか、おまえ星で『殺戮王子』って言われてただろ。そんなんだったら、いつまで経ってもあれだよ？ ちゃんと計画もってやらないと進まないだろ。

隊長 …いやまあわかるよ、気持ちちは。地球人のサンプルと思って故郷に送られて来たのが犬やったわけやん。こんな下等生物が支配してる星かって舐めて、実行部隊、

この人数しか用意されなかったわけで。人間がこの星にいるってわかって、俺らと殆ど能力的に変わらへんかって、だからとりあえず準備しなおしてやろうって決めたじゃん。飲まれてどうすんの？ 何馴染んでんの？ そんなんじゃないつまで経っても無理やで？

男2
けど、一番最初にさ、俺等が宇宙から来たってバレへんようにせなあかんって言
うてたやん。

隊長
だからってちょっと馴染みすぎだろ？ 何だよその挑発的なポーズは！（男1と
女に）ゲームやめろって。何やってんねんそれ。

女
スペースインベーダー。

隊長
え？ テニスみたいな動きしてなかった？てか、スペースインベーダーって地球
人がエイリアンを伐つ奴じゃん。おまえらがそれやってキャッキヤすんな。

*
∴。

隊長
ホント、こんなんでもいいの？

男1
おまえほんなら、百万円でホンマに侵略できると思うんか！

隊長
∴百万、大金じゃん。

男1 百万で何ができるん？ 車も買えへんやん。

隊長 それはだからや…。

男1 おまえさ、一番真面目みたいにやっちゃってるけど、一番現実逃避してんのおま

えやん。一生懸命バイトして、何かしてる気になってるんやと思うけど、それで

あんまり考えんようにして安心を得ようとしてるんやろ？

隊長 …そうかな。

男2と女、男1に言い過ぎという目配せ。

隊長、宇宙語が漏れる。日本語にはないような発声。

男1、宇宙語で隊長を宥める。

男1 ちよつと言い過ぎたけど。

男2 取り敢えず侵略するにしても北海道がどんな所か偵察しておく必要はあるんちゃ

う？

隊長 まあ、そうかも知れないけど。

女 …ピザ頼む？

隊長 うん。あんま高いの頼むなよ？

隊長 四つの味が楽しめる奴。

隊長 琴欧州、今日勝った？

* 勝ってたよ。

隊長 知らない土地で頑張ってる人って応援したくなるよな。

隊長に気を遣うように談笑。終わり。